

令和8年度 釧路市立武佐小学校 いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ （その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所 づくり 教師が主体	【A あいさつ・言葉づかい指導】 ・あいさつや言葉づかいの指導によって、望ましい人間関係を築く。児童会のあいさつ運動やほんわか言葉との連携を図る。	【D Q-U・アセスを活用した教育相談】 ・全児童を対象に、Q-U・アセスの結果を踏まえた教育相談を行い、学級経営や生徒指導に活かす。	【G 地域先生から学ぶ】 ・武佐小校区の企業や人材を地域先生として位置付け、総合的な学習やクラブ、各教科等で継続的な活用を図る。	【J 道徳教育の充実】 ・いじめは絶対に許さないことを、道徳の授業を中心に、全教育活動を通して指導する。
② 絆 づくり 児童が主体	【B 児童会活動】 ・異学年のつながりを深めるため、児童会が主体となり、活動を計画、実施する。	【E 青陵中生徒会との交流（ISSYあいさつ運動、ISSY朝会）】 ・青陵中生徒会ISSYレンジャーと一緒に、よりよい関わり方を考えながら、実践力を高める。	【H 健全育成入選標語への応募（市教委）】 ・心身ともに健やかに成長することを目的にした標語を作成し、校内に掲示するとともに、入選標語審査に応募する。	【K 人権教室】 ・人権擁護委員との連携を図り、思いやりの醸成や人権人権意識の高揚を図る。
③ 環境 づくり いずれかが主体	【C 教育環境の充実】 ・低、中、高学年ごとに、マイノートの掲示を通年で行い、子ども同士が学び合い、互いに高め合う環境をつくる。	【F 一日一善運動】 ・友達のよいところを見つける、自分のできたことを知らせる活動を通して、互いのよさを認め合う。	【I 読み聞かせボランティア】 ・月一回、火曜日の朝活動の時間に、学校支援ボランティアの協力を得て読み聞かせを行う。	【L 情報モラル教室】 ・外部講師を招いて、ネットトラブルについて学び、トラブル防止について考える。

↔ は、活動のつながりを示しています。